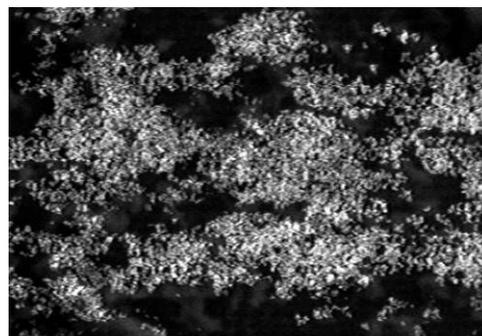


肌との密着性に優れ、薄く均一に広がりながら色むらをカバー 「イーブンコントロールパウダー」を開発

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、肌との密着性に優れ、薄く均一にのび広がりながら色むらをカバーする、ベースメイクアップ化粧品用の新規粉体「イーブンコントロールパウダー」を開発しました。2014年8月21日に発売予定のファンデーション「コスメデコルテ イーブンパーフェクト」へ展開します。

「イーブンコントロールパウダー」は、隠ぺい力が高くカバー粉体としてメイクアップ化粧品に配合される酸化チタンを、「セラミド」・「リン脂質」・「フィトステロール」の複合体でコーティングしたものです。これらの複合体は、細胞間脂質や、生体細胞膜を構成している成分からなる、生体類似成分であり、肌との親和性が高く、付着力や保水機能に優れています。



「イーブンコントロールパウダー」
電子顕微鏡写真

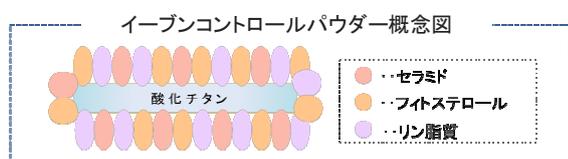
酸化チタン表面にこの複合体をコーティングすることにより、肌上で薄く均一でありながら、優れた色むらカバー効果のある化粧膜を形成します。さらに、複合体の持つ高い保水効果により、肌の乾燥を抑制するので、負担感を感じることなく色むらカバー効果を長時間持続させることが可能となりました。

特長① 高い密着感がありながらも負担感のない薄く均一な化粧膜

ファンデーションには肌の悩みをカバーしながら、肌と一体化したような自然な仕上がりが求められます。一般に、シミや毛穴の隠ぺい力を高くすると、いわゆる厚化粧といわれる不自然な化粧膜となり、閉塞感も受けやすくなります。これをいかに素肌のように仕上げるかが、技術上の課題となっています。

当社は、これらの課題を解決するためには、肌への負担感を抑えつつ、肌表面への高い密着性を高めることが重要と考え、生体類似成分に着目しました。保湿力という観点から、3種のセラミド(セラミド2、セラミド3、セラミド6)を選択し、さらに検討を重ねた結果、リン脂質、フィトステロールも含めた複合物を用いて酸化チタン粉体表面にコーティングした、「イーブンコントロールパウダー」を開発しました。

概念図

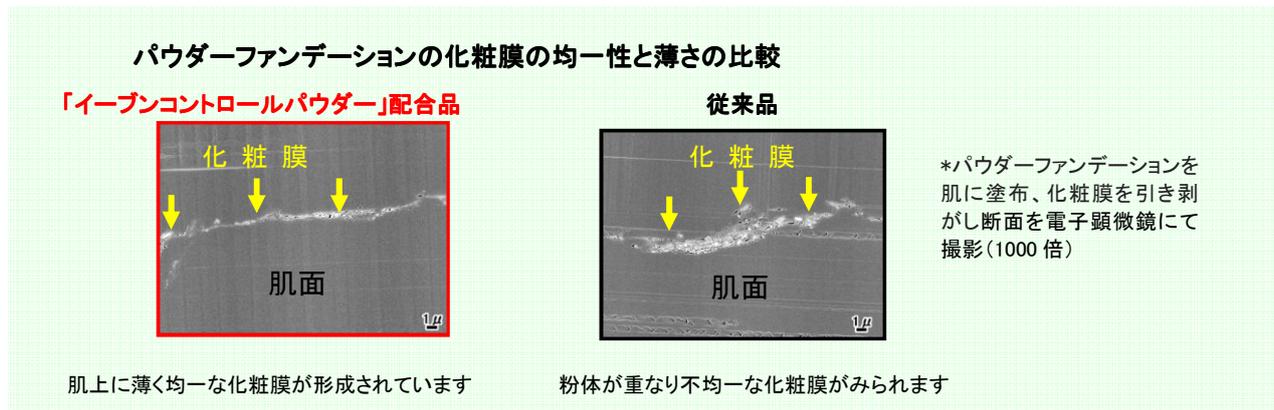


肌塗布時の概念図



* 肌上に薄く均一な化粧膜を形成します

このイーブンコントロールパウダーを配合したパウダーファンデーションを作製し、化粧膜の状態を観察したところ、従来品と比べ、肌上に薄く均一な化粧膜を形成していることが明らかとなりました。(下図)

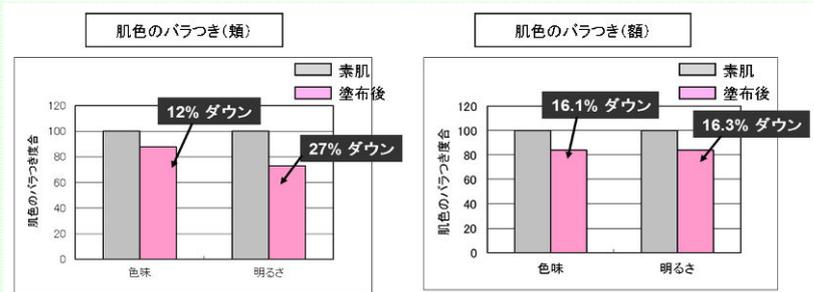


特長② 色むらカバー効果と高い持続性

「イーブンコントロールパウダー」は肌に塗布すると、肌に高い親和性を示すため、薄膜で均一に広がり、肌との強固な膜を形成します。そのため、薄膜でもしっかりと色むらをカバーすることができ、厚塗り感のない自然な肌に仕上がります。しかも効果が長時間続くので、いつまでもつけたての仕上がり効果を発揮します。

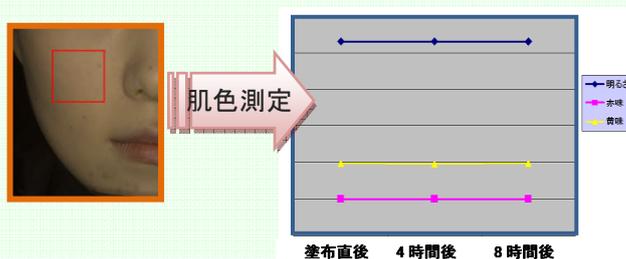
このイーブンコントロールパウダーを配合したパウダーファンデーションを塗布した結果、塗布前の素肌の状態よりも肌の色みのバラつきが抑えられ、またその色味は変化することなく長時間持続していることが分かりました。

色むらカバー効果の検証



色、明るさ(テカリ)のばらつきを頬部、額部にて測定した結果。イーブンコントロールパウダー配合のパウダーファンデーションの塗布後はばらつきが減少しており、肌色むらを抑制していることがわかります

経時での色味の変化



イーブンコントロールパウダー配合のパウダーファンデーションを塗布し、頬部の時間経過による色の変化を測定した結果。時間が経っても色の変化がなく、つけたての効果が長時間持続します

コーセーでは、粉体の表面状態や構造にアプローチすることにより、これまで単独では困難だった特性を持つ機能性粉体を開発しています。本研究では、肌の皮膚生理機構に注目し、肌との親和性の高い粉体の開発を行うことで、新規粉体およびファンデーションの開発に至りました。今後も、化粧品の付加価値を向上する原料・素材の開発に取り組んでいきます。